

### ■ 取扱説明書

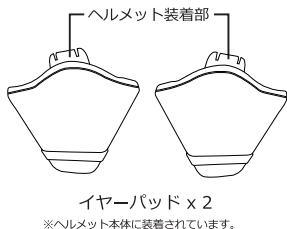
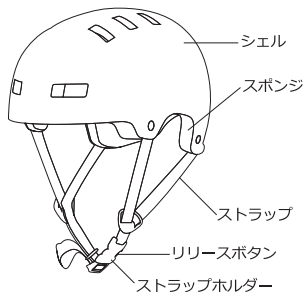
本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。  
安全に使用して頂くため、必ず説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。  
また、お読み頂いた後も、この説明書は大切に保管してください。

### ■ ご使用前に

- ・本製品はスノーボード、スケートボード、インラインスケート、BMX、キックスクーター専用のヘルメットです。本来の用途以外（オートバイなど）に使用しないでください。
- ・国や地方自治体で定められている交通規則に従ってください。
- ・品質には万全を期しておりますが、使用前に破損が無いか確認してください。
- ・本製品が破損した場合は、使用しないでください。
- ・外装用の袋は、乳幼児や小さなお子さまにとって窒息の危険がともないます。開封後は適切に処分してください。

### ■ 製品説明

[各部名称]



※ヘルメット本体に装着されています。

### ■ 製品仕様

材質：ABS樹脂（シェル部）、高密度発泡ポリスチレン（スポンジ部）

重量：約 400g

製品サイズ（本体部）：W230 × H200 × L280 mm

適応周長：約 56 - 61cm

付属：インナーキャップ ※ヘルメット本体に装着されています。

原産国：中国

## ■ 使用方法

### [ストラップホルダー取扱方法]

#### 1. ストラップホルダーの外し方 / とめ方

ストラップホルダーの両端 2 か所にあるリリースボタンを下図矢印(↓)の向きに押しと外れます。とめるときは、ストラップホルダーをカチッと音がするまでしっかり押し込んでください。



### [イヤーパードの着脱方法]

イヤーパード上部（ヘルメット装着部）を手で抑え下方向へ引っ張り取り外します。

取り付ける際は、イヤーパード上部（ヘルメット装着部）を元の場所に差し込み取り付けてください。カチッと音がするまでしっかり押し込んでください。

### [インナーキャップの着脱方法]

インナーキャップは面ファスナーによる着脱式です。

取り外す際は、面ファスナーで固定された各部を取り外します。

取り付ける際は、ズレや接着に不足がないように元の場所にしっかりと取り付けてください。

汚れた際は水で手洗いすることができます。洗濯機の使用はおやめください。

### [ヘルメットの正しいかぶり方]

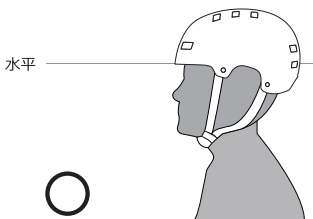
1. ヘルメットを前から後ろにかけて水平になるようにかぶり、ストラップホルダーをとめます。

2. ストラップは、あごとの間に指が 1 本程度入るくらいの長さに調整します。

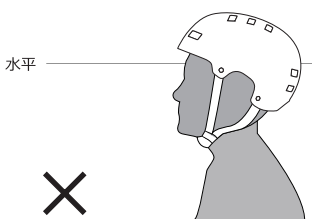
下を向いた時に首が苦しくない程度のゆとりが必要です。

適切なストラップの長さは頭の形などによって個人差がありますので、ご自身の適切な長さ  
に調整してください。

#### 正しいかぶり方の例



#### 誤ったかぶり方の例



## ■ 保管 および メンテナンス方法

- ・直射日光の当たる場所への長時間の放置や、車の中および暖房機のそばなど、高温（50℃以上）の場所に長時間放置しないでください。
- ・ヘルメットのお手入れは薄めた中性洗剤で拭き取るようにしてください。ガソリン・ベンジン・熱湯（50℃以上）や、塩水などは絶対に使用しないでください。
- ・長期間汚れを放置しないでください。素材が劣化する原因となります。
- ・廃棄の際は各地方自治体の廃棄区分に従ってください。



## 注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- ・ストラップホルダーを止める際は、皮膚や毛髪を挟まないようにご注意ください。  
ケガをする恐れがあります。
- ・ストラップは正しくしっかりと締めてください。  
締めないままの走行は、万一転倒した際に脱げる恐れがあります。絶対におやめください。
- ・ストラップホルダーは、必ずホルダーの最後まできっちり押し込んでください。  
押し込みが不完全な場合、万一転倒した際にストラップホルダーが外れてしまう恐れがあります。
- ・大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上に損傷がなくても、ご使用にならないでください。  
ヘルメットはシェル及びスポンジ部が潰れることで衝撃エネルギーを吸収します。  
大きな衝撃を受けたヘルメットはすでにスポンジ部が潰れていることが多く、そのまま使用すると衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。
- ・ヘルメットの改造及び分解は絶対にしないでください。  
ヘルメットに穴を開けたり、内部の衝撃吸収材を削ったり、また、ストラップなどは絶対に改造しないでください。ヘルメット本来の性能が発揮できなくなり非常に危険です。
- ・ヘルメットのペイントは絶対にしないでください。  
スポンジ部は、塗料や熱の影響により材質が侵され衝撃吸収力が低下する場合があります。ペイントは絶対におやめください。
- ・ヘルメットは大切に取扱ってください。  
ヘルメットを床などに放り投げたり、上に座ったりしないでください。その度に衝撃を吸収するため、衝撃吸収力が低下します。万一のために大切に取扱ってください。
- ・ヘルメットは永久的に機能性、安全性を維持できるものではありません。  
使用の頻度や管理状況などにより異なりますが、1～3年を目処に新しいヘルメットに交換してください。